世界の日本乎、亞細亞の日本乎

竹越三叉

青空文庫

日本は自ら足れりとする乎。將た之を廣大ならしむべき乎。偉大を好む國民は、自ら進みて此の問題を解釋し、國人が發見したる新島嶼を收并するをすら拒絶して、以て退守自ら安ぜんとせる當局を刺激して、日本を廣大ならしむ。知らず廣大にせられたる此の日本をして、『世界の日本』たらしめんとする乎。抑もまた『亞細亞の日本』たらしめんとする乎。

世は戰勝の凱歌に醉ふて、頻りに世界の日本と號し、地球上の大國民と號し、揚々乎として前後を察せず。然も知らずや、此中、日本を以て亞細亞に繫け、日本人民を蒙古人種に係け、日本の勝利を以て亞細亞文明勝利の兆となし、之を以て歐西人種に反抗せしめ、之を以て歐西文明を敵視せしめ、所謂る『世界の日本』をして『亞細亞の日本』たらしめんとする者あるを。『世界の日本』と『亞細亞の日本』と、唯だ是れ言語の相違なるが如し。併かも其國民の精神に影響する所に至ては、絶大の相違ある也。

『世界の日本』は、亞細亞、歐羅巴の地理的空名の上に超然として、直ちに日本を以て、世界に繫なぐる也。東洋と云ひ西洋と云ふ歷史的事實に頓着せず、其國民の偉大を養ふ要素を、世界の凡べての部分より吸收せんとするもの也。黃人と云ひ、白人と云ふ、人種的區別を顧慮せず、世界の凡べてに、恩光を賦與せんと欲するもの也。若し戰ふべくんば、世界の凡べてを相手として戰ふもまた辭せざらんとし、若し親しむべくんば、人種、地理、歷史、恩讐の別を問はずして、親しまんとするもの也。其志望や大、其氣象や高、其勢や順、其理や適、是れ、支

那海の盡くる所、太平洋の初まる所に國を起し、世界東西の文明を呼吸し、高きに據つて、亞細亞思想（若し此の如きものありとせば）の頑固なる塊土とも云ふべき支那に向つて、大打撃を與へたる時勢が生み出せる、正統の子たる也。夫れ支那は稍　我と人種を同じくし、等しく亞細亞洲中にあり、而して其文明は曾て一たび、我國民を嚮導せり。然かも吾人は、人種、歴史、地理を顧慮せず、斷々乎として撃つて之を懲らす。征清の大業中、固より人種、歴史、地理の異同なく、世界の文明により、世界の勢により、世界の道理により、世界の利益のため、世界的大運動に出でしやまた明白ならず耶。

『亞細亞の日本』とは何ぞ。世界と云ひ、亞細亞と云ふ、獨り其の大小の差あるのみならず、性質に於て全く相反す。『亞細亞の日本』と云ふは、地理的空名の上に超然たる大國民をして、退きて偏隅に割據して、地理的空名に掣肘せられしむる者也。人種の區別に制せられざる大國民をして、人種的嫉爭の狹隘界に退かしむるもの也。東西文明の英華を食ひ、世界の高所に立つ國民をして、退きて東洋歴史の惰力に制せられしむる也。即ち世界を相手とし、世界の高所に立ち、世界の順勢に乘じ、世界の力を消化集中し、世界の道理に據るの大運動をして、地方的、偏安的、地理的、人種的ならしめ、大運動の『偉大』を脱骨せしむるもの也。『亞細亞の日本』の『世界の日本』に於ける、豈に唯だ數量、境域の差のみならん耶。

彼の歐洲を崇拜し、恐怖し、之を中心として萬事を決定せんとする者の痴愚なる、固より云ふを要せず。然れども亞細亞の名に向つて涙を澆ぎ、亞細亞の名によつて、歐洲と對抗せんとす

る者の痴愚に至ては、是よりも甚し。知らず亞細亞なるものは地理的空名の外、果して何ものぞ。

其人種相似たりと云ふ乎。亞細亞列國の人種相異なるや、日本人種と歐羅巴人種の相異なると毫も異ならず。カウカサス人種あり、蒙古人種あり、マレー人種あり、ドラヴヰタス人種あり。ネグリトス人種あり、ハイペルボレアン人種あり。更らに言語に從つて區別すれば、カウカサス種あり、セミチツク種あり、印度日耳曼種あり。是れ其の概説のみ。若し最も我と同文、同種と稱せらるゝ支那に關して一層の穿鑿を施し、其風俗に見、習慣に見、思想に見れば、純乎たる蒙古種にあらずして、ヘヴリウ、異人種は排すべしと爲さば、吾人は歐洲を排するが如く、亞細亞の外國を排せざるべからず。亞細亞は人種上に於ても、確固たる一個の形躰を爲すものにあらざるや明か也。

已に人種上の形躰にあらず。然らば則ち文明の性質に於て、亞細亞は一種の形躰を具ふる乎。釋迦は曾て印度より起れるが故に、佛教を亞細亞文明と稱する乎。耶蘇は亞細亞の猶太より起りしが故に、基督教を亞細亞文明と稱せんとする乎。孔子が支那山東の地に起りしが故に、儒教を亞細亞文明と稱せんとする乎。齊しく幾億萬の民心を繋ぐ。何れを以つて亞細亞的なりとし、孰れを以て非亞細亞的と爲さんと欲する乎。支那的形象文字は、亞細亞に盛なるが故に、之を以て亞細亞文明なりと云ふ乎。日本、朝鮮、滿州はフヰニシヤ、蒙古文明と云ひ、ヘブルウ、漫に之を區分するも、其源流に遡れば則ち一のみ、若し、源流に遡らずして、其の下流に

つきてのみ云はんとする乎。アリヤン、蒙古なく、ヘブルウ。日本あるのみ、支那あるのみ、波斯あるのみ、英國あるのみ、佛國あるのみ、露國あるのみ、源流に遡れば天下は一のみ、支流に下れば列國あるのみ、アリヤンと云ひ、蒙古と云ひ、ヘブルウと云ふ、半上落下の區分あるを許るさず。此の如きは學者書齋の文字のみ、天下の活機を以て律すべきにあらざる也。亞細亞は已に人種的結成躰にあらず、また文明的結成躰にあらず。況んや政治的形躰にあらず。然らば唯だ是れ地理上の一空名の外何の實かある。詮じ來れば毫も意義あるものにあらず。ヘブルウの昔人、西方に日の沈むを見て、歐羅巴と名け、東方に日の昇るを見て、亞細亞と名けしのみ。若し、日本國民にして自ら其の士に立ちて東西を顧み、支那大陸より歐洲を包含して、之を日西と名け、南北米州を名けて、日東と爲すも、また妨げず。亞細亞と云ひ歐羅巴と云ふ、畢竟古人の隨意自由に命名したるものに過ぎず。古人の隨意なる命名に、人種的、文明的、政治的意義を賦與し、一個の形躰となし、一個の意志あるものとなし、自ら其前に跪きて、興廢感慨の涙を流し、空前絶後の世界的大業を傾けて、此の空名の犠牲とせんとするものあらば、是れ千古の痴愚にあらず耶。『亞細亞の日本』を主張するの結果此の如し。故に曰く、廣大にせられたる日本は『世界の日本』たらざるべからず。

亞細亞の名、詮じ來れば漠然無意義の語なる此の如し。知らず、亞細亞説を唱ふるもの、何を以て其の理由とする乎。若しそれ世に權詐の士あり、中心支那文明を崇拜し、其國風を嘉賞し、而して其の滅亡を嘆惜し、亞細亞なる一般名目によりて之を掩覆し、回護し、亞細亞を生かす

てふ廣義の中に、支那の復活を含ましめんとするものある乎。將た或は日進文明の自由なる大氣に對して、不平を抱き、日進の文明教化が、歐洲より淵源し來ると謂ふて之を厭惡し、亞細亞てふ歷史的名目によりて、懷舊思想を挑發し、以て歐西文明と相抗爭せしめんとするものある乎。是れ吾人が共に眞面目に論ずるを厭ふ所。何となれば是れ取りも直さず、新たに支那中心說を唱ふるに同じければ也。夫れ日本は、其地勢已に亞細亞大陸を離れて、太平洋心に近きが如く、其文明も蒙古人種の文明にあらず、東西南北の精英を集め、咀嚼、鍛練して、別に一個の文明を有す。若し亞細亞舊時の思想によりて、亞細亞總聯合を起さんとせば、中心は日本にあらず。最も能く之を代表するものは、即ち支那也。故に亞細亞說は即ち支那中心說とならざるを得ず。吾人は已に世界に於ける亞細亞中心說を排す。何ぞ況んや、亞細亞に於ける支那中心說に甘心するを得ん耶。

吾人は歐羅巴中心說を排するが如く、亞細亞中心說を排す。吾人は浮薄なる歐洲論を排するが如く、陰險にして卑屈なる亞細亞說を排す。吾人は日本を中心として、直に世界の局面を打算すべきのみ。吾人は已に世界の舞臺に上れり。宜く世界を相手として飛舞すべき也。

見よや、水天彷彿たる琉球臺灣の彼方よりは、混々たる暖潮、暖帶の生物を送り來り、北米の盡所、露領の極北より來る冽々たる寒流は、雪を作り霜を作りて、寒帶生物を養ふ。西南の風は齊魯の野より、風沙を薩南の地に送り、西北の風は大和の逸民を、北米の野に生ず。我自然の風物は、天下の變化を集むるが如く、我文明も東西列國、文明の精英より成る。必しもアリ

ヤン、必しも、ヘブルウ。必しも蒙古と云ふ勿れ、天下の文明は日本國民の爲めに消化せられ、鍛煉せられて、此に一個新奇の撰擇文明を生ぜんとす。吾人は感情に制せらるべからず。惰力に抵抗せざるべからず。吾人は明確の判斷、強固なる意志を以て言はざるべからず。吾人は親しむべくんば、人種、文明、地理上の區分を問はず、天下萬邦と袂を聯ねて周旋すべし。吾人は戰ふべくんば、また天下萬邦を敵とするも辭すべからず。敵にせよ、味方にせよ、戰鬪に於ても、文明に於ても、漫に歷史、人種、地理の區分に迷ふて退縮し、『世界の日本』を縮めて、『亞細亞の日本』たらしむべからず。吾人豈に的なきに漫りに矢を放たん耶。當今の形勢により、戰後の民心を卜し、切言するの已むべからざるものあれば也。

（明治二十八年四月十三日「國民之友」）

青空文庫情報

底本：「明治文學全集　36　民友社文學集」筑摩書房
　1970（昭和45）年4月30日初版第1刷発行
　1983（昭和58）年10月1日初版第3刷発行
初出：「國民之友　第二百五十號」民友社
　1895（明治28）年4月13日発行
※「アリヤン」の傍線と白丸傍点、「ヘブルウ」の傍線と傍線なしの混在は底本どおりです。
入力：kamille
校正：川山隆
2008年5月18日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

世界の日本乎、亞細亞の日本乎

竹越三叉

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/